

会 議 録

	和泉市社会資本総合整備計画事業評価委員会
開催日時	令和2年11月19日(木) 10時10分から12時10分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター1階 中集会室
出席者	和泉市社会資本総合整備計画事業評価委員 内田委員長 藤田副委員長 中委員 宮本委員 和泉市 市長、都市デザイン部長、上下水道部長、都市整備室長、上下水道部 次長、公園緑地担当課長、下水道整備課長
事務局	都市整備室公園緑地担当、下水道整備課
会議の議題	<ul style="list-style-type: none"> ・開会、市長挨拶 ・委嘱状交付 ・委員紹介 ・委員長挨拶 ・諮問 ・議事(1) 和泉市におけるみどり豊かで安全、快適な公園・緑地環境づくり(第二期) ・議事(2) 和泉市における安全で快適な生活環境づくり(その2)、和泉市における安全で快適な生活環境づくり(その2)(重点計画)
会議の要旨	<p>社会資本総合整備計画には、おおむね3～5年の期間において、目標の実現状況の評価するための指標を設定しており、交付期間の終了時、あるいは交付期間の最終年度中に、社会資本総合整備計画で設定した目標の達成状況や事業効果の発現状況について評価を行い、これを公表するとともに国土交通大臣に報告することとされております。</p> <p>この評価について、透明性、客観性、公正さを確保する為、委員会でご審議していただく。</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他
その他の必要事項(会議の公開・非公開、傍聴人数等)	会議公開

会 議 録

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

・開会、市長挨拶

事務局より挨拶、資料の確認

市長より挨拶

・委嘱状交付

市長より委嘱状の交付

・委員紹介

事務局より各委員および参加者の紹介

委員長及び副委員長の選任

内田委員長より挨拶

・諮問

市長より諮問

・議事 (1) 和泉市におけるみどり豊かで安全、快適な公園・緑地環境づくり (第二期)

事務局による事業内容及び評価書の説明

《質疑》

○黒鳥山公園の整備について、設置をした災害用トイレ等の使用方法の説明周知はしないのか。防災意識を高めることにも繋がると思うがどのようにお考えか。

→災害用トイレの使用に関する説明周知については、今年度に設置を予定しているパーゴラに設置するテントの整備後に、テントの使用方法和併せて地元の説明を行う予定である。

○災害用トイレやかまどベンチについて、施設利用に関する説明表記はあるのか。

→詳細な説明表記を行うと、施設に対するいたずらに繋がるおそれがあるので、フタ等に「下水道に接続」程度の表記としている。

○黒鳥山公園は駐車場や周辺道路の交通量や幅員等を考えると、災害時に避難する場所としては疑問があるが、防災機能を備えた公園としてなぜ選出されたのか。

→和泉市地域防災計画における指定避難所は、小学校・中学校の体育館や校舎を活用するのが大前提である。大規模空地である総合公園は、一時避難地に指定されており、黒鳥山公園につきましても防災機能をもたせている。

○松尾寺公園へのアクセスについて利便性が悪い印象がある。大阪外環状線は道幅も広く利便性が高いので、今後それらに接続するような道路の計画があれば、教えてほしい。

→大阪外環状線からのアクセスに関して、今のところ市としての計画はない。

会 議 録

○松尾寺公園の整備について、付近にゴルフ場が出来ると聞いたことがあるが、松尾寺公園の計画と同計画か。

→同計画ではない。松尾寺公園については、今後、実施計画を進めていく予定です。ゴルフ場については、民間業者が土砂の埋立て後に地域貢献として市に提案があったが、当該地は農業地にあたる場所であるため、法的に実現していない。

○黒鳥山公園の整備について、実質目標である規模の整備は完了とあるが、次計画はどのような計画か。

→黒鳥山公園に関しては、次期計画初年度である令和 2 年度も整備をしており、防災機能を有する公園として整備予定です。黒鳥山公園は総合公園であるので、付近の市民だけではなく、市内全域から来訪してもらえるような魅力ある公園づくりを検討していく。

○松尾寺公園の整備について、今回の計画では台風の影響により崩壊した法面の補修等の整備だが、近年の自然災害発生頻度を鑑みると、公園内の危険箇所の整理や、防災・減災への対応が必要になるのではないか。

→松尾寺公園は山間部の公園であり、崩壊した斜面等につきましては、予想外の箇所であった。今回の被害を教訓にし、危険箇所を調査し、場合によっては立入りの制限等の対策を考えていく。

○遊具撤去の割合について、年々撤去割合は増えているものか。

→遊具の入れ替え時に地元と調整を行っており、新設を要望されない場合もあるが多くはない。利用者の需要に合せ、健康遊具やベンチ等を設置することもあり、何かしら別のものを設置する場合もある。

《意見》

○事業評価書（案）「事業効果の発現状況、目標値の達成状況」の指標 2 について、実績が 33 公園中 33 公園ということで 100%の達成率となっているが、当初目標は 29 公園なので、33/29 になり 100%以上の達成率でもよいのではないか。ただ、本評価書は国土交通大臣あてに提出するので、国や府等と表記について調整願う。

○事業評価書（案）「事業効果の発現状況、目標値の達成状況」の指標 2 文中『安全性がアップした』とあるが、アップしたという文言を日本語表記に変更願う。

○特記事項（今後の方針等）について、黒鳥山公園の整備予定を記載したほうが良い。

○特記事項（今後の方針等）について、信太山丘陵については、今回着手には至らなかった旨の記載が必要。

会 議 録

・議事 (2) 和泉市における安全で快適な生活環境づくり (その2)、和泉市における安全で快適な生活環境づくり (その2) (重点計画)

事務局による事業内容及び評価書の説明

《質疑》

○汚水管整備について、公共工事整備する範囲と個人負担すべき範囲は。

→公共で整備・管理する範囲は、官民境界から民側の第一公共柵までとなっており、そこから民側の宅内排水設備の設置・管理に関しては個人負担となっております。宅内排水設備の設置に関する補助はございませんが、排水設備工事にかかる費用を銀行で借りた際に発生する利子を市で負担する融資斡旋制度があります。

○令和元年度末での下水道普及率が 89.1%とのことだが、最終目標は何%となるのか

→下水道普及率につきましては、下水道全体計画外を含む市全体の行政人口を分母としているため、下水道全体計画区域内の整備を終えたとしても 100%になることはなく、整備を完了した場合の最終的な普及率は約 99.4%となります。なお、下水道全体計画区域外につきましては合併処理浄化槽で整備するように位置づけております。

《意見》

○普及率の最終目標が 99.4%とのことだが、今後は改築更新時の人口減少を見据えた整備計画を策定していただきたい。

○通常事業の事業評価書(案)「事業効果の発現状況、目標値の達成状況」の指標 2 について、事業費削減について積極的に記載していただきたい。

○重点事業の事業評価書(案)について、指標 1 の当初現況値(平成 30 年当初)と通常事業重点事業の事業評価書(案)実績値(平成 29 年度末)に差異がある。混乱を避けるため、備考欄に採用数値について注記していただきたい。

・閉会

上下水道部長より挨拶

以上